

山田レスリングクラブ 山屋君が全国3位の快挙

7月27日、28日に大阪府で行われた「第35回全国少年少女レスリング選手権大会」で、山田レスリングクラブに所属する山屋翔夢君（南小4年）が、小学生の部4年生24kg級に出場し、見事3位入賞の快挙を成し遂げました。

入賞の感想を「ことは3位だったが、来年は優勝したい」とした山屋君。来年優勝するために「疲れても意識して構えを落とさずできるように練習に励みたい」と、技術面での向上を図りたいとのこと。今後の活躍が期待されます。



山田中央団地自治会主催 盆踊り大会で地域を元気に

月があー出た出たあー、月があ出たあー、ヨイヨイツ——8月20日、山田中央団地自治会（甲斐谷久孝^{ひさたか}会長）の盆踊り大会が行われました。盆踊り大会には、自治会会員のほか山田町社会福祉協議会の職員など約50人が参加。踊りは山田町商工会女性部から指導を受け、前日にリハーサルをするほど熱心に練習しました。甲斐谷会長は「震災後、このような機会が無かったことから、何かやろうと住民から話が出た。今後も続けて行きたい」と、意欲を語りました。

不来方高校音楽部コンサート 素晴らしい歌声で観客魅了

8月5日、町中央公民館で不来方高校音楽部によるコンサートが行われました。ことして6回目となる同校の活動を楽しみに、会場には約300人が来場。山田町民歌で幕を開けたコンサートでは、ゲストにコーラス泉の会や、オーストリアで活躍されているピアニスト、長岡直子さんを迎え、昔懐かしの民謡から最新のポップな曲まで合唱16曲、ピアノ独奏3曲を披露しました。10年連続全日本合唱コンクール金賞の歌声もさることながら、踊りや手話を交えた迫力ある合唱が観客を魅了しました。



池田高校吹奏楽部演奏会 町に元気・活力・明るさを

8月9日と10日の2日間、池田高校吹奏楽部が本町を訪れ、各地で演奏会を行いました。9日には、まちなか交流センターで開催。池田高校吹奏楽部と言えば、演奏にダンスを加えた「ダンス&プレイスタイル」。全身を使って表現する高校生のパフォーマンスに、観客らは元気をもらっていました。池田高校からは、震災以降毎年義援金が本町に贈られており、来町するのは3度目。甲斐谷副町長は「町民に元気と活力と明るさを与えてくれて」と感謝の言葉を述べました。



町のわたり

今月の題字 福士 悠さん (大沢小2年)



立神岩 (大浦)



山田湾めぐるジオ散歩開催 山田の大地の成り立ち学ぶ

8月18日、山田湾とオランダ島で「山田湾をめぐるジオ散歩」が開催されました。これは、オランダ島を形成している岩石の観察などとおして山田の大地の成り立ちを学んでもらおうと開催されたものです。講師を務めたのは岩手県地学教育研究会に所属する佐藤公彦さん。参加者は佐藤さんの説明を聞きながら、オランダ島や大浦の立神岩を観察。自らの目で見、手で大地に触れ学びを深めていました。豊間根から参加した伊藤実知子さん(35)は、「地学が好きで参加しました。山田の成り立ちをより詳しく知ることができました」と感想を話しました。

船越小児童が定置網漁体験 地元漁業について学ぶ

8月21日、船越小学校(千葉浩之校長)の5年生25人が、船越湾漁業協同組合(湊謙代表理事組合長)の漁師の皆さんの協力の下、定置網漁を体験しました。これは、町の主産業である漁業に関する学習を深めることを目的に行われたものです。児童たちは漁船に乗り込み、タブの大島付近の定置網まで移動。漁師の皆さんの指示に従い、海中から網を力いっぱい引っ張り上げました。獲れた魚は漁師さんがその場でお刺身に。船上で新鮮な海の恵みに舌鼓を打ちました荒川翔君は「何度も網を引っ張るのはとても大変でした」と話しました。

